



舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第2弾

演劇

枇杷の家

作 緑川有

演出 瀬戸山 美咲



2020年3月7日(土)・8日(日)

両日とも14:00開演 (13:30開場)

東松山市民文化センターホール

〒355-0024 東松山市六軒町5-2

チケット発売

メンバーズ先行発売 2019年12月12日(木)～

一般発売 2019年12月20日(金)～

チケット料金 全席指定・税込

一般 2,500円

(メンバーズ料金2,000円)

高校生以下 1,500円

(中学生以下は入場不可)

チケットお問い合わせ 東松山市民文化センター ☎0493-24-2011

WEB購入 <http://theater.pac.or.jp/>

(ホームページ内チケット予約ボタンよりお楽しみください)

中絶告知日のみ、窓口・WEB10:00～18:00

メンバーズ価格でのご提供はおりとり様ご容赦

出演・大林弘子 (梅葉子 役)

小川知 (柳家実 役)

葉月のとみ (牧野月子 役)

比島瑠 (清水順次郎 役)

主催 公益財団法人東松山文化まちづくり公社

共催 東松山市教育委員会

後援 埼玉県 埼玉県教育委員会 東松山市

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

毎日新聞さいたま支局 FMNACHS

共同通信社さいたま支局 埼玉新聞社

産経新聞さいたま支局

時事通信社さいたま支局 千葉五

東京新聞さいたま支局

日本経済新聞社さいたま支局

毎日新聞さいたま支局

埼玉新聞さいたま支局

協力 彩の国さいたま芸術劇場

助成 一般財団法人地域創生



当演劇をお手伝いいただける ボランティアスタッフの募集、バックステージツアー について、くわしくは東松山市民文化センターホームページをご覧ください。

昭和、平成、そして令和へ…。東松山から「新しい家族の物語」を。

東松山市は、自然豊かな里山があり、それでいて東京へ一時間ほどで行ける、いわば都心のベッドタウンである。

戦後の東京集中に伴う宅地開発が進み、昭和から平成にかけて人口が増加し、現代もそれは続いている。平成31年4月30日をもって、平成という時代の幕が下りた。平成家族物語という企画は、この時代を生きてきた私たちが感じたこと、家族の姿を、東松山市をはじめとする大都市周辺の街が舞台となる作品を選び、またそれを上演することにより、来るべき新たな時代を考えていこうとするものである。

第2弾演劇「枇杷の家」…

平成から令和へと変わった今年度、本プロジェクトは2年目を迎えました。平成30年度は、3か年事業の1年目、第1弾「東松山戯曲賞」の創設、その優秀作品「枇杷の家」(作・緑川有)の朗読劇公演を開催。市・県内外からの出演、観客と、多くの皆様にご参加いただき、本事業に対しまして高い評価を得ることができました。2年目となる令和元年度、作品は、第2弾演劇「枇杷の家」へと進化します。演出は、昨年第26回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞の瀬戸山美咲さん、キャストには、49名の応募者から選ばれた個性豊かな4名の俳優たち、そして、現在演劇界で活躍中のスタッフ陣と市民ボランティアスタッフが一堂となり、新たな時代の家族像を模索した「くっちゃん芝居」に挑みます。

Profile



演出 **瀬戸山 美咲** (せとやま みさき)

劇作家・演出家・ミナモト主宰、2016年、「彼らの歌」で第23回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。最近の作品に「THE METHER」(上演日本・演出)、オフィスコトネ「朽もくもく汚れなく」(作・演出)、さいたまネオクラシター「ジハード-Dihad-」(演出)、新国立劇場「あのお母さん」(ともに演出)などがある。オフィスコトネ「夜、ナク、鳥」(演出)、流山県★事務所「わたし、と戦争」(作・演出)で第26回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞、「アズミ・ハルコ」(行方不明)、「リバーズ・エッジ」など映画脚本も手がける。2016年、FMシアター「あいちゅんはじ」で第42回放送文化基金賞脚本賞受賞。皇国谷パブリックシアターのワークショップ、多摩ニュータウン×演劇プロジェクト、ロンドンパブリックシアター「ヒロシマの孫たち」などコミュニティの人々との創作にも携わる。



作 **緑川 有** (みどりかわ ゆう)

グラフィックデザイナー、愛媛県出身。京都にて、広告代理店、デザイン事務所等の勤務を経てフリーランサーに。その後上京し、青山にてデザイン事務所設立。企業PR誌や社史、学校案内等のデザインに携わる。現在、戯曲執筆に取り組みとともに、井筒道子の筆名で小説を執筆。「父のグッドバイ」で第15回(2007年)やまなし文学賞受賞、「次ぎの人」で第1回(2014年)林芙美子文学賞受賞。



大林 弘子 (大 風子 役)

MONIAジャズダンススタジオ主宰。元日本ジャズダンス芸術協会オーナー会員、生徒育成とダンサーとして数々の舞台で活躍。2007年に引退し投資の世界に挑戦する。文学座シニア俳優養成プラチナクラスを卒業する。プラチナクラスに所属し活躍。「大夫さん」(かもめ)「石松」(十二夜)「東屋」(絆よ私の手に乗れ) (2020年4月に在演演劇祭に招聘される)他にも数々の作品に出演する。



小川 知 (柳原 康 役)

舞台芸術学院、青俳、クラブマールを経て、現在フリーで活動中。年間平均で、2〜3本の作品に出演している。日本新劇俳優協会会員。主な出演作品として、贈だまの想(銀座セゾン劇場)、二宮金次郎(東京芸術劇場)、夕霧-トロイアの女(彩の国さいたま芸術劇場)、イエスタデイ(信濃ホール)、映像作品では、映画「中学教師」(松竹)「新・おしゃべりな喜劇」(東京都消費生活センター制作)、教育用ビデオ「ライブラリアンシリーズ」(東京都制作)その他、様々な作品に出演。



菜月 ひとみ (牧野 月子 役)

13歳より芸能活動を始める。TV、CM他、商業演劇、ユニット芝居に出演。最近では五木ひろし・市川由紀乃公演「雨あがる」(御園座)松平健・中村美津子公演「慕れん坊っちゃん」(御園座)他に出演。また、TVクイズ脳ベルSHOW(BSフジ)に出演。特技の日舞でフロリダディズニーワールド日本代表に選ばれた経験もある。



比島 順 (徳水 銀次郎 役)

福井県生まれ。東松山市在住。1982年から埼玉県公立中学校国語科教員として勤務。1985年から3年間バンコク日本人学校に勤務。比企部児童生徒詩文集編集長、埼玉県国語理解教育研究会副会長を歴任。2019年東松山市内中学校長を定年退職。同年、朗読劇「枇杷の家」出演。高坂駅前彫刻群の作者高田博洋の彫刻に携わる。

Story

風子(六十五歳・未亡人)は、異常にポジティブである。そのうえ、妄想癖までありそうだ。真(六十五歳・独身、会社員だったが今は無職)は、やや斜にかまえた毒舌家。月子(五十八歳・独身、フリーランスのライター)は、恋に無縁だと振みつつ常に恋愛なタイプである。そんな三人が、家に大きな枇杷の木がある一軒家を借り、シェアハウスとして暮らし始めて3年目を迎えている。リビングでは、何かと理由をつけて宴会が始まる。酔いがまわると、三人のディープな本音が思慮のごとく飛び交い絡み合う。アツ島の大人の女だからといって、古くからの友人だからといって、誰しういけても、思いやり豊かなわけでもない。言いたい放題、むしろ、わがままである。言葉のバトルとささやかな愛しあひ交差する三人の日常である。そんな中、真はどうやらお付き合いを始めた男性がいるようだ。と、同時に風子にもそんな男性の存在が明らかになる。風子と真がそれぞれ月子に送った「やりとり」の愛のいい言葉をおきます。は、ビジュアルだけではなく、天才的な美の言葉までそっくりだ。月子だけが知ってしまった危険な関係は、ある日、枇杷の家でドラマチックな結末に向かう。

Staff

- 美術 原田 愛
- 照明 岩島 武勝
- 音響 金子 伸也
- 衣裳 小林 巨和
- 演出助手 朝倉 エリ
- 舞台監督 大畑 孝次郎
- 制作助手 中谷 裕
- 制作 岩崎 達也
- 中山 智恵
- 鈴木 和幸
- 菊地 俊孝
- コーディネーター 渡辺 弘
- プロデューサー 石田 義明



東松山市民文化センター ホール

〒355-0024 埼玉県東松山市六軒町5-2 ☎0493-24-2011

電車ご利用の場合：東武東上線、東松山駅東口下車徒歩約20分。
バスのご利用は東松山駅東口バス乗り場から「パークタウン 五軒行き」に乗り、「東松山市民文化センター前」下車。

クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、舞台製作にかかる大道具及び広報物製作のための資金175万円を目標に12月6日(金)よりプロジェクトを開始致します。

クラウドファンディングプロジェクト概要

プロジェクトタイトル 「〜平成家族物語〜舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第二弾」
(<https://readyfor.jp/projects/hfs>)

目標金額 175万円 ※目標金額に達しない場合、全額返金へ返金されます。

募集期間 2019年12月6日(金)〜1月31日(金) 56日間

リターン制(一部)

- 公演チケット
- 配布パンフレットへのご芳名掲載
- 上演台本
- バックステージツアー 等

ネットで簡単!チケット購入

<http://theater.pac.or.jp/>

ホームページ内チケット予約ボタンよりお申し込みください

お電話でも予約できます ▶ ☎0493-24-2011